

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター六甲ふくろうの家 保育所等訪問				公表日	2026年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	0				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	0	利用者が少なかった。			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	1	0	法人の会議、研修に出席している。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	1	0	訪問やその前後の面談において、児童発達支 援のスタッフと連携できるシステムになって いる。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	0	1	第三者による外部評価は行っていない。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	1	0	法人内外での研修を実施している。			
適切 な支 援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	1	0	保護者や普段かかわっている児童発達支援の スタッフより、詳細なアセスメントを取って いる。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	0				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1	0	保護者を通じての意見聴取となっている。	訪問先施設の先生方と密に連携し、意向など お聞きしたい。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	0				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	1	0	発達検査の結果は保護者を通じて知らせても らっている。児童発達支援に通所の際に、行 動観察を行っている。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	1	0	保育所等訪問支援計画は前年度の書式を使っ ている。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	1	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	1	0				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	0	振り返りを十分に行うことで、児発管を通じ て関係機関と共有している。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	0	1	訪問先にご挨拶の電話はしているが、理念な ど十分に聞き取ることができていない。	事前にHPなどで訪問先の理念を把握してお く。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	1	0					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	1	0					
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	1		サービス担当者会議、関係機関との会議があ れば、実際に訪問したスタッフが参加するよ うにする。			

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	0			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	1		今後就学の際に、情報共有していく。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	0			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	0		児童発達支援センターとして毎回参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	0			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	0		法人内での他の事業所でペアレントトレーニングを開催している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	0		初回面談時や変更事項があればその都度お手紙を配布し説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	0		新規の訪問先には、事業の趣旨、目的について書面で説明し、電話連絡をしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	0		適時連絡をして子どもの様子や保護者の方針等話し合う機会を設けている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	0		新しい計画案を発行する度に保護者の同意をいただいている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	0			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	0		児童発達支援センターにおいて、保護者参加の座談会やイベント時に兄弟姉妹参加型にして関わりを持てる機会を設けている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	0		要望等があった場合は速やかに対応を話し合い職員間で情報共有している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	0		通信などは児童発達支援センターとして発行している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		個人情報に記載された書類等は鍵のかかる書庫に保管し取扱には細心の注意を払っている。	書類の保管、取扱を十分に注意していく。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1	0		視覚支援で伝える等特性に応じて柔軟に対応していく。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1	0		児童発達支援センターとして「地域障害児支援体制強化事業」もあり、相談等に依る体制は整っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	0	1		保護者を通じての報告のみ行っている。	実施後の訪問先とのカンファレンスについて、保護者、施設の希望に沿ったかたちで行う。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	0		面談をとって共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1	0		個人情報に記載された書類等は鍵のかかる書庫に保管し取扱には細心の注意を払っている。	書類の保管、取扱を十分に注意していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1	0			専門用語がわかりにくい場合があるので、わかりやすく表現するようにする。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	0		あらゆる事態を想定した定期的な避難訓練を実施しその様子を保護者に伝えて、有事の際の意識を高めている。	避難場所の周知を図りよりリアルなシュミレーションに努めたい。

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	0	職員間で物を管理を徹底し保管状況等周知する。	物の管理場所や在庫状況など把握が継続できるようにしたい。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	0	事案が発生した時は速やかに情報共有し改善に努めている。	日々の振り返りの中に新たなヒヤリハットが潜んでいないか内容を精査する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1	0	虐待する側される側に分かれて実際体験できるシミュレーション方式の研修を行うことでよりリアルに感じ防止策を考えている。	参加できなかった職員への研修や第二回目等検討したい。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	0		